

令和2年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
都筑	1	都筑区青少年の地域活動拠点「つづきMYプラザ」における相談支援体制の連携構築・強化	つづきMYプラザにおける、より多くの「青少年を育成する者」との連携構築・強化	こども青少年局	○
都筑	2	河川流域に設置された防災用スピーカーの増設等及び機能強化	1 増設等に係る委託費 2 機能強化に係る委託費	総務局	—
都筑	3	早淵中学校の地域防災拠点新規指定	防災備蓄庫の設置及び備蓄品の整備	総務局	—
都筑	4	教育支援専門員の支援体制の強化	1 教育支援専門員の対象範囲の拡大 2 対応件数増に伴う事務費の追加配付	健康福祉局	○
都筑	5	福祉の窓口におけるICTの活用	都筑区のタブレット端末を使用して、区役所での利用において有効な情報端末と運用方法の検証	健康福祉局	—
都筑	6	江川せせらぎ緑道の「花の名所」としての持続的な取組	江川せせらぎ緑道の再整備および維持管理の推進のための事業費確保	環境創造局	○
都筑	7	都筑区寄り添い型生活支援事業の実施場所増設による支援拡大と支援充実	都筑区寄り添い型生活支援事業の実施場所の増設	こども青少年局	—
都筑	8	文化施設の整備及び文化施設の整備を契機としたまちづくり	1 「地域に根差した個性ある文化の創造に寄与する」ための、文化芸術活動の拠点となるよう「横浜市都筑区における区民文化センター基本構想 答申」の内容を踏まえた、基本設計・実施設計とするための調整 2 周辺のまちづくりへの配慮や、地域の活性化などを含めた事業者、関係機関及び関係局との各種調整等	文化観光局 都市整備局 交通局	○
都筑	9	中小企業の展示会出展支援による販路開拓の活性化	各社の単独展示に加え、複数社連携した展示や実機展示（デモンストレーション）ができるよう、テクニカルショウヨコハマの「横浜ものづくりゾーン」及び区ブース出展スペースの維持・拡充 ものづくりの魅力発信に向けて、区が効果的にPRするための経費	経済局	○
都筑	10	駅周辺及びインターチェンジ周辺のまちづくり	1 【東山田駅】まちづくりの方向性を固めるとともに実現に向けた手法検討 2 【川和町】組合施行の土地区画整理事業の推進を支援。「川和町駅周辺地区まちづくり基本構想」を活用し、まちづくりに対する地域の機運をとらえ、西地区を含む川和町駅周辺地区全体のまちづくりの方向性について地域とともに検討 3 【川向町】組合施行の土地区画整理事業の推進を支援	都市整備局	○
都筑	11	バス路線利便性向上及び利用促進に向けた検討	1 横浜市生活交通バス路線維持制度による補助金の交付の維持[既存路線の維持] 2 生活交通バス路線の利用を促すためのPRキャンペーン等の検討・実施に係る協力・連携[利用促進のためのPR]	道路局 交通局	○

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	こども青少年局
------	---------

都筑区		地域振興課・こども家庭支援課	
担当者名	田野井・石井	TEL	948-2235
共通区			

継続年数	2年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
1	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	都筑区青少年の地域活動拠点「つづきMYプラザ」における相談支援体制の連携構築・強化
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>	

◇地域の課題、基礎データ等

【現状】

- つづきMYプラザは青少年の地域活動拠点と国際交流ラウンジ機能の2つの機能を有する市内唯一の公共施設である。
- 当該施設は国際交流ラウンジ機能も有していることから、外国につながる青少年に関する案件の対応も行っているという特徴も有している。
- つづきMYプラザを利用する青少年（外国人を含む）や、区青少年指導員連絡協議会及び区社会福祉協議会との協同事業「はあとdeボランティア」の参加者である中・高校生等への声掛け・傾聴等によって、青少年の抱える問題やリスクが発生する前又は早期の把握に努めてきた。
- そこで、地域人材及び支援団体との連携構築・強化が必要不可欠となるが、つづきMYプラザにおける現状においては、事業や会議を通じた連携に留まり、必要な支援に繋がるために必要な連携体制が十分に図られているとは言えない。

【課題】

青少年を取り巻く様々なリスクに対して、早期に発見して必要な支援につなげるには、今まで以上に様々な団体等との連携が必要である。これまで連携が取れていなかった民生委員・児童委員、PTA、学校コーディネーター、区民活動センター、コミュニティカフェ等、様々な地域資源との連携を進め、地域で青少年を見守り、支えていくためには、必要な体制や人員を整える必要がある。

- ◇地域ニーズ等の収集手段
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 | <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 | <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 | <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 |
| <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート | <input type="checkbox"/> 6 区民要望 | <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 | |
| <input type="checkbox"/> 8 その他 () | | | |

地域のニーズと解決策

◇区民からの具体的な要望

【横浜市子ども・若者支援協議会】
「困難を抱える青少年の早期発見、適切な支援へのつながりの仕組みの構築」について提言(H24)

【利用者からの声】
専門施設や医療機関、区役所は敷居が高いが、青少年の活動拠点では、気軽かつ日常的・継続的に関わっていただくことができた。特に外国につながる青少年については、プラザにつながることで初めて早期支援につながった。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

都筑区運営方針：施策1「つながりと協働を育むまち」、施策2「いきいきと健やかに暮らせるまち」
これまでの対応：傾聴・相談案件のうち、専門的支援が必要と見込まれる案件を中心に、こども青少年局、教育委員会（学校含む）、区役所（こども家庭支援課・地域振興課）のほか、専門機関（北部児童相談所、都筑警察署、地域ユースプラザ、青少年相談センター等）と連携し、関係機関会議及びケースカンファレンスを実施し対応している。

	<p>◇課題解決のための方策</p> <p>1 青少年の地域活動拠点づくり事業で国費を導入している趣旨を踏まえ、局、区、地域が連携して、支援を必要としている困難を抱える若者を、リスク発生前又は早期に発見して支援に繋げられる環境と、こうした若者を見守り、社会参画を支援するためのネットワークの構築・強化に取り組みたい。</p> <p>2 今後も、相談・傾聴に力を入れた「青少年の地域活動拠点」として、居場所・社会体験活動の充実を図りつつ、利用者・参加者の青少年に対する積極的な声掛け・傾聴を実施していくことで、青少年の抱える問題やリスクの発見に努める。</p> <p>3 更に、民生委員・児童委員やPTA、学校・地域コーディネーターといった地域人材や、区民活動センターやコミュニティカフェといった既存施設との連携を新たに構築しつつ、今まで連携してきた青少年指導員や青少年相談センター、北部ユースプラザ、北部児童相談所、北部学校教育事務所、小・中学校、地区センター、区役所との繋がりを強化する。</p> <p>4 リスクのある青少年を必要な支援に繋げることができるネットワークを構築することで、青少年が抱える悩みや課題が深刻化するのを防ぎ、将来的に不登校やひきこもりなどの状態に陥ることがないように、予防的な支援を実施していく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【今まで】</p> <p>限られた窓口や行事、関連機関を接点とした声掛け・傾聴等</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【これから】</p> <p>多くの関係者や様々な窓口、行事、関連機関と連携した声掛け・傾聴・支援等</p> </div> </div> <p style="font-size: 0.8em; margin-top: 10px;">※ 出入国管理及び難民認定法の改正等により増加が予想される、外国人青少年への対応も必要</p>
<p style="text-align: center;">提案内容 ・ 概算額等</p>	<p>総事業費11,992千円 ＜局執行＞9,779千円</p> <p>【内訳】</p> <p>○人件費7,479千円</p> <p>① 統括スタッフ（週5日：常勤）4,800千円</p> <p>② 補助スタッフ（週5日：時給）2,679千円：1,011円×5時間×週5日×2人×53週）</p> <p>○プログラム実施費1,000千円、企画費500千円、広報費300千円、その他事務費500千円 ＜区配による執行＞2,213千円</p> <p>【内訳】</p> <p>賃借料：1,617千円（共益費込）、光熱水費：18千円、定期清掃業務委託料等：578千円</p>
<p>参考：区執行体制上の課題</p>	<p>現行の体制で対応</p>
<p style="text-align: center;">局事業名</p>	<p>青少年の地域活動拠点づくり事業</p>
<p style="text-align: center;">所管局課・担当者</p>	<p>こども青少年局青少年育成課・中川係長</p>

◆局回答内容

こども青少年局		青少年育成課	
担当者名	中川	TEL	671-2325

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>青少年の地域活動拠点が地域に出向き、新たな地域人材・既存施設との連携体制を構築・強化することで、青少年が抱える様々なリスク・課題の早期把握・早期支援を行うための費用を予算計上しています。</p>	
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <hr/> <p>◇対応する場合の課題</p> <hr/>	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

Header information table including '都筑区 総務課' and '担当 石井・小針'.

Table for '継続年数' (3 years) and '添付資料' (none).

Main survey form table with columns for '番号', '提案種別', '項目', and '内容'. Includes detailed text about flood speaker installation and budget estimates.

局回答内容

Response header table: '総務局 緊急対策課' with '担当 有賀・齊藤'.

Response content table with columns for '対応の有無', '対応しない理由', and '対応する場合の課題'.

防災用スピーカー システム概要(イメージ)

① 都筑区役所



河川の水位情報などから避難勧告等の避難情報の発令を判断

※防災用スピーカー設置場所

早淵川流域(1. 中川中学校、2. 東山田地域ケアプラザ、
3. 早淵3丁目こどもの遊び場、4. 勝田会館、
5. 大棚町公民館、6. 早淵かなりあ公園)

鶴見川流域(1. 新川向橋土木事務所資材置き場、2. 日東樹脂工業屋上、3. 川内自治会館、4. 川向しものや公園、
5. 佐江戸公園)

② ※防災用スピーカー(区内:計11基) 早淵川流域:6基 鶴見川流域:5基



・総務課執務室内からインターネット回線で遠隔操作が可能
・サイレン吹鳴および音声放送により避難情報を伝達する。
※現地において、直接操作を行うことも可能

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

都筑区 総務課
担当者名 水谷、卯月 TEL 958-2212
共通区

所管局名 総務局

継続年数 7年以上 添付資料

Table with 3 columns: 番号, 提案種別, 項目. Row 3: 早淵中学校の地域防災拠点新規指定. Includes detailed text about disaster relief and regional needs.

◆局回答内容

総務局 地域防災課
担当者名 廣部 TEL 671-4356

Table with 3 columns: 対応の有無, 対応しない, 予算化見送り. Row 1: 対応の有無. Row 2: 対応する場合. Row 3: 対応しない場合.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	健康福祉局
------	-------

都筑区		生活支援課	
担当者名	島田	TEL	948-2311
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
4	予算関連 <input checked="checked" type="checkbox"/>	教育支援専門員の支援体制の強化
	制度関連 <input checked="checked" type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等 平成24年度から中学生高校生のいる生活保護世帯に対して教育支援専門員による支援を行っています。平成26年から学習支援事業による中学生高校生への進学等の支援を開始しました。平成27年生活困窮者自立支援事業（以下、「困窮制度」という）が実施されると学習支援事業については困窮制度の利用者に対して対象が拡大されましたが教育支援専門員の支援は困窮制度の対象者には実施していません。生活保護から自立した世帯は学習支援事業は利用できるものの、教育支援専門員の支援は受けられません。 【基礎データ】 H31保護世帯の生徒数：中学生65人、高校生69人（参考：小学生66人） H30廃止世帯の生徒数：中学生6人、高校生11人（参考：小学生15人）	
	◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="checked" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ）	
	◇区民からの具体的な要望 高校進学また進学後のこどもの育成についての確な情報を得ることができ、また親身になって相談してもらえます。生活保護が廃止になっても引き続き相談をしたい。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 都筑区運営方針：施策2「いきいきと健やかに暮らせるまち」⑨自立・生活再設計の推進 生活保護世帯・生活困窮世帯の生活基盤の安定に向けた中学生・高校生に対する学習支援を行っています。	
	◇課題解決のための方策 教育支援専門員は、学校や学習支援事業者など関係機関と連携し中学生高校生が進路相談を中心に学生生活を円滑に送れるよう支援を行っています。現行では生活保護から自立すると教育支援専門員の支援を受けられなくなり、進路決定などに支障が出ている状態です。そのため困窮制度を利用している世帯の中学生高校生まで対象者を拡大する必要があります。	
	提案内容・概算額等	①教育支援専門員の対象範囲の拡大 ②対応件数増に伴う事務費の追加配布 80千円（内訳）旅費66千円（H31年度60千円）、消耗品費8千円（H31年度7千円）、通信運搬費6千円（H31年度5千円）
参考：区執行体制上の課題	区の執行体制の調整を要す	
局事業名	教育支援専門員による支援事業	
所管局課・担当者	健康福祉局生活支援課 吉澤係長	

◆局回答内容

健康福祉局		生活支援課	
担当者名	吉澤	TEL	671-4078

対応の有無	対応する	既存の制度で対応する
対応する場合	◇対応の内容 生活保護から自立した世帯については、生活困窮者自立支援制度により、関係機関等と連携して支援を行っています。 生活困窮者自立相談支援員が支援を行う上で必要な教育情報については、教育支援専門員と同様の支援ができるよう、情報提供を実施します。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名 健康福祉局

都筑区 高年齢・障害支援課
担当者名 花摘 TEL 948-2301
共通区

継続年数 新規 添付資料

Table with 3 columns: 番号, 提案種別, 項目. Row 5: 予算関連, 制度関連, 福祉の窓口におけるICTの活用. Content includes: 地域のニーズと解決策, 地域ニーズ等の収集手段, 区民からの具体的な要望, 課題解決のための方策, 提案内容・概算額等, 参考: 区執行体制上の課題, 局事業名, 所管局課・担当者.

局回答内容

健康福祉局 福祉保健課
担当者名 中川 TEL 671-4056

Table with 3 columns: 対応の有無, 対応しない, 予算化見送り. Row 1: 対応しない, 予算化見送り. Row 2: 対応する場合, 対応の内容. Row 3: 対応しない場合, 課題に対する局の考え方, 対応する場合の課題.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管局名	環境創造局	都筑区		土木事務所		
		担当者名	内山	TEL	942-0552	
		共通区				
		継続年数	2年	添付資料		

番号	提案種別	項目
6	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
<p>江川せせらぎ緑道の「花の名所」としての持続的な取組</p> <p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>江川せせらぎ緑道は、都筑水再生センターから川向ポンプ場に至る全長4.6kmの下水道施設ですが、暗渠区間を除く3.3kmは散策可能な遊歩道が整備されています。歩道沿いに植えられたサクラや地域の方が植えるチューリップが咲きそろう春には区外からも多くのお客様が訪れ、近年は「サクラの名所」として旅行雑誌に取り上げられるなど注目が高まっています。良好な景観形成と雨水貯留機能を両立する江川せせらぎ緑道は、近年注目されるグリーンインフラとしても注目すべきものです。</p> <p>一方で、整備から25年近くが経過し、園路などの施設に老朽化が目立っています。また、整備前から植栽されているサクラの保全や樹勢回復も課題となっています。地域と行政が一体となり花や緑、水をいかした魅力ある空間づくりに取り組んできた江川せせらぎ緑道は、横浜市中期4か年計画2018～2021(素案)における「花と緑にあふれる環境先進都市」「ガーデンシティ横浜」を推進するうえでも重視すべき先進事例であり、「花の名所」としての持続的な取り組みが求められています。</p> <p>【参考】H31江川せせらぎ緑道のメディアでの掲載状況(一部) 書籍：びあ 一度は見たい桜の絶景首都圏版 (A4 2ページ見開き掲載) 昭文社 日帰り大人の小さな旅 桜美景 (A4 1ページ) テレビ：テレビ朝日、日本テレビ、テレビ神奈川 現地取材、写真提供 新聞：神奈川新聞</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p>■1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 □4 地域懇談会等 □5 区民アンケート □6 区民要望 ■7 関係団体からの要望 □8 その他 ()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <p>・根上による園路の凹凸で安心して散歩できない。ぬかるみがある。 ・サクラに枯れ枝が目立つようになってきており、心配している。 ・四季を通じて楽しめるような花壇整備を進めたい(水辺愛護会)。 など</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>平成30年度より施設改良に取り組んでいるほか、令和元年度より桜の樹木診断(初期診断)を実施した。また、都筑区運営方針「豊かな環境をいかしたまちづくり」の一環として、水辺愛護会への支援やチューリップ植え付けを協働で行っている。</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <p>・遠方からの来訪者に対応した案内施設の設置、施設改良の実施 ・安全快適な市民利用を確保し、樹木を健全に育成するための植栽管理の強化 ・将来にわたって花の名所として楽しめるよう、サクラ類の樹勢診断・基盤改良の実施、活動団体への支援(球根、花苗等の支給)</p> <p>提案内容 ・再整備の実施(園路整備、サイン類等) 〃〃〃〃〃〃 円 ・植栽管理費・修繕工事費の増 〃〃〃〃〃〃 円/年 ・サクラの樹勢診断 〃〃〃〃〃〃 円/年(3か年計画) ・活動団体への支援強化(球根、花苗、消耗品等の購入費) 〃〃〃〃〃〃 円/年</p> <p>参考：区執行体制上の課題 現行の体制で対応</p> <p>局事業名 下水道事業会計 管きよ費</p> <p>所管局課・担当者 環境創造局管路保全課</p>		

◆局回答内容

環境創造局		管路保全課	
		みどりアップ推進課	
担当者名	佐丸(管路保全課) 大浦(みどりアップ推進課)	TEL	671-2831 (管路保全課) 671-2629 (みどりアップ推進課)

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	・下水道施設による地域と連携した水・緑環境の維持および、ガーデンシティ横浜を推進する先進事例として、再整備に伴う修繕工事費、植栽管理費等(〃〃〃〃〃〃円)を局が継続して計上する予定です。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

Header information table including '都筑区 区政推進課', '文化観光局・都市整備局・交通局', '担当人名 磯村、勝又', 'TEL 948-2226', '共通区', '継続年数 7年以上', '添付資料'.

Main survey form table with columns: 番号 (8), 提案種別 (予算関連, 制度関連), 項目 (文化施設の整備及び文化施設の整備を契機としたまちづくり), 地域 (地域), 内容 (地域ニーズ等の収集手段, 市民からの具体的な要望, etc.), 備考 (区執行体制上の課題).

◆局回答内容

文化観光局 文化振興課 担当者名 頼政、南雲 TEL 671-3861

Response table for Cultural Tourism Bureau: 対応の有無 (対応する), 対応の内容 (都筑区における区民文化センター等整備予定地活用事業の進捗を踏まえ、調整を進めていきます。), 対応しない場合 (課題に対する局の考え方, 対応する場合の課題).

都市整備局 地域まちづくり課 担当者名 入江 TEL 671-2667

Response table for Urban Planning Bureau: 対応の有無 (対応する), 対応の内容 (みなきたウォークの賑わいや街づくり協定を踏まえた都市軸の創出に向けて、区とともに関連局と連携し、適切なまちづくりの誘導を進めます。), 対応しない場合 (課題に対する局の考え方, 対応する場合の課題).

交通局 資産活用課 担当者名 田中、王 TEL 326-3837

Response table for Transportation Bureau: 対応の有無 (対応する), 対応の内容 (「みなきたウォーク」の活性化については、センター南北高架下等有効活用基本構想に基づき進めていくとともに、アクセス動線の改善に向けて、都筑区役所、文化観光局、都市整備局等と連絡し、地元との調整を進める。), 対応しない場合 (課題に対する局の考え方, 対応する場合の課題).

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名 経済局

都筑区 区政推進課
担当者名 磯村、勝又 TEL 948-2226
共通区 金沢区、港北区

継続年数 4年 添付資料

Main proposal form with columns: 番号, 提案種別, 項目. Includes details for '中小企業の展示会出展支援による販路開拓の活性化' and '地域のニーズと解決策'.

局回答内容

経済局 ものづくり支援課
担当者名 春日井・沖田 TEL 671-2567

Response table with columns: 対応の有無, 対応する, 既存の制度で対応する. Includes sections for '対応する場合' and '対応しない場合'.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

Header information table including '都筑区' (Toshima Ward) and '区政推進課' (District Administration Promotion Section), '担当署名' (Responsible Signature) '東、松林' (Higashi, Matsuura), 'TEL' '948-2225', '共通区' (Common District), '継続年数' (Continuation Period) '6年' (6 years), and '添付資料' (Attachments).

Main survey table with columns for '番号' (Number), '提案種別' (Proposal Type), '項目' (Item), and '内容' (Content). It details the '地域ニーズと解決策' (Local Needs and Solutions) for the '駅周辺及びインターチェンジ周辺のまちづくり' (Development around stations and interchanges), including specific requests for station areas like 東山田駅, 川和町駅, and 川向町.

局回答内容 (Bureau Response Content)

Response header table with '都市整備局' (City Planning Bureau) and '市街地整備推進課' (Urban Development Promotion Section), '担当署名' (Responsible Signature) '須藤 直樹' (Sudo Naoki), 'TEL' '671-2678'.

Response content table with columns for '対応の有無' (Whether Responded), '対応する' (Responded), and '予算対応する' (Budget Responded). It details the '対応する場合' (When Responded) and '対応しない場合' (When Not Responded) regarding the survey items.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局、交通局	都筑区	区政推進課	
		担当者名	東、松林	TEL
		共通区		
		継続年数	7年以上	添付資料

番号	提案種別	項目
11	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	バス路線利便性向上及び利用促進に向けた検討
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
<p>地域のニーズと解決策</p> <p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>1. 都筑区南部をはじめとする一部の地域では、駅まで15分圏外であるうえに、バス路線の廃止や減便に伴い、交通利便性は決してよくない。区内の生活維持路線数は、29年度に1路線廃止して5路線だが、市内で最多の区となっている。</p> <p>2. 市営310系統(センター南駅～仲町台駅)が廃止され、一部地域の路線網は更に薄くなった。</p> <p>3. グリーンライン開通により、バス利用者数は減少している。区内には市営バス及び東急バスが運行しているが、グリーンライン開通前後に大幅な見直し(廃止)が行われた。平成22年6月まで利用者実態調査を実施したが、客数の増加がみられなかったため、バス便数が減便されている(平成22年11月)。20年前のブルーライン開通および6年前のグリーンライン開通により区内各地からの最寄駅が変わってきているが、バス路線ルートが従前そのまま運行距離が長くなっている路線がある。</p> <p>4. 都筑スポーツセンター利用者にとっての唯一の公共交通機関である市営バス路線318系統を維持する必要がある。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p>■1 日常の窓口対応等 ■2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 □4 地域懇談会等 □5 区民アンケート □6 区民要望 ■7 関係団体からの要望 □8 その他 ()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <p>1. 行政と地域の会合において、バス路線の利便性確保の要望が出されている。(都田連合、池辺連合地域のつどい、主要事業説明会など～H30年)</p> <p>2. 「区南部方面は、港北ニュータウンに比べてバス路線が不十分。」「グリーンライン開通によりバス便が激減して困っている。」「朝晩の本数を増やせばとても利用しやすくなる。」「横浜駅直通のバスを復活させて欲しい。」「バス路線を石橋バス停止まりから緑・神奈川区方面に延長して利用しやすくして欲しい。」「ららぽーとのバス停が変更になり、年寄りには不便になった。」「東山田駅周辺にバスがなくて不便。」「310系統がより効率的になるよう路線再編してほしい。(H20～30年度 市民からの提案、区民アンケート)」</p> <p>3. 南部地区の地区懇談会でバス便の利便性の向上が課題となった。(地域福祉保健計画各地域懇談会 H21年3月、6月)</p> <p>4. 障害者の足となりうるバス路線の利便・維持を考慮してほしい(H23年度 広聴)</p> <p>5. 平成25年度開催の地域のつどいで、バスの不便さ、高齢者の移動手段としての重要性について意見が多数よせられた(バス路線の廃止、運航便数の減便が相次いでおり日常の利用に支障をきたしている。これから高齢化を迎えるにあたり、バスへの依存が高まる。時間運行便数の減少により更なる利用者減の悪循環に陥る。等)</p> <p>6. 平成27年度区民意識調査によると、中部地区と南部地区では、生活環境の不満足との割合が高い項目として、バスの利便性がランクインしていた。</p> <p>7. 買い物や役所に行くときにはバスに乗るが、1時間に1本しかなく、移動が大変(H28年度 池辺地域懇談会)</p> <p>8. 買い物、通院ニーズは生活維持に関わるものであり、1便/時だけでもバスを維持してもらえると助かる(連合会長との意見交換 H28年10月)</p> <p>9. 計画されている都田地区センターや都田地域ケアプラザへのアクセス向上のため、バスを増便してほしい。(H30年度 広聴)</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>1. 温暖化対策やバス路線の維持の観点から、マイカーではなく公共交通機関の利用を区民に呼び掛けている。バス路線情報(減便等)について区連合での情報提供を実施している。また、生活維持路線の採算状況と利用促進のお願いを記載したチラシを地域へ配布、バス車内で掲示している。</p> <p>2. 定時運行によるバス利便性の維持のため、道路局とともに道路改良を進めている。</p> <p>※都市計画マスタープラン・都筑区プランでの位置づけ：バス利便性の向上</p> <p>3. 南部地区で路線再編を実施した318系統の利用促進のため、チラシやポスターを通じたPRの取組を進めている。</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活交通バス路線維持のため、赤字分の補てんを行う。[既存路線の維持] 地域の利用を積極的に促すためのPRキャンペーン等の方策の検討、実施連携。[利用促進のためのPR] <p>・横浜市生活交通バス路線維持制度による補助金の交付の維持[既存路線の維持](97,896千円)(H30年度実績)</p> <p>・生活交通バス路線の利用を促すためのPRキャンペーン等の検討・実施に係る協力・連携[利用促進のためのPR]</p>		
提案内容・概算額等	<p>・横浜市生活交通バス路線維持制度による補助金の交付の維持[既存路線の維持](97,896千円)(H30年度実績)</p> <p>・生活交通バス路線の利用を促すためのPRキャンペーン等の検討・実施に係る協力・連携[利用促進のためのPR]</p>	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	横浜市生活交通バス路線維持支援事業(道路局)、自動車事業(交通局)	
所管局課・担当者	道路局企画課交通計画担当 勝俣係長 交通局路線計画課 上田係長	

◆局回答内容

対応の有無	道路局		企画課	
	担当者名	勝俣、小川	TEL	671-3800

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>利用促進策の実施については、区や交通局とともに連携していきます。(計上額は、当事業全体の事業費であり、都筑区関連以外の路線も含まれます。)</p>	
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>	

対応の有無	交通局		路線計画課	
	担当者名	上田・國近	TEL	326-3865

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>生活交通バス路線について、区役所や道路局などとも連携して、利用促進のためのPRをしています。</p>	
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>	